

利用者アンケート R2 年度ホースセラピーの例

【設問1】属性・年齢 ※調査員が目視で判断して記載しても良い

男性 女性

20代 30代 40代 50代 60代以上

【設問2】居住地

() 市町村

【設問3】来訪頻度・手段

はじめて 毎週 月数回 年数回

徒歩 自転車 自家用車 電車 バス

【設問4】来訪時間及び滞在時間

午前中 昼 午後 その他 ()

1時間以内 1～2時間 2～3時間 3時間以上

【設問5】本日の公園の来訪目的（そもその動機） ※複数回答可

散策 子どもの遊び 休憩（移動途中） サイクリング

BBQ ホースセラピー参加 川を見に 電車を見に

その他 ()

【設問6】ホースセラピーを何で知ったか

チラシ 口コミ 公園に来て知った その他 ()

【設問7】ホースセラピーは良かったか

とても良かった 良かった どちらとも

あまり良くなかった 良くなかった

【設問8】ホースセラピーへのレポートについて

定期的にあると良い また参加したい 今回のみ わからない

【設問9】木曾川を活用した川遊びイベントについて

参加したい 特に参加したいと思わない わからない

↳具体的なメニューについて ※複数回答可

カヌーで川下り ボート サップ その他 ()

【自由意見】

利用者アンケートの実施方法

- ・質問項目は、各実験でできるだけ統一し比較できるようにするが、実験内容によって検証内容を踏まえ独自の設問を加えることもある。
- ・利用者から回答を得る方法は、実験実施者から依頼するか、事務局スタッフがサポート可能な場合はヒアリングする。

検証内容

各実験内容の目的と検証内容を下表に示す（資料2より抜粋）。

- ・社会実験のコンセプトに照らし、新たな公園利用や高付加価値化（商業面も含め）につながるポテンシャルの把握を目指す。
- ・商業面については、事業者アンケートと実際の収支と併せ、利用者アンケートによる感想・反応等に基づき採算性等を確認する。
- ・検証により、今後の事業性として伸ばすべき点および改善すべき課題を把握する。

表-1 社会実験の内容別の目的と検証内容

実施内容	目的	検証内容
朝カフェ	笠松みなと公園の日常的な利用に彩りを添えることへの需要・ニーズの確認	公園の午前中の利用者による飲食サービスの需要・ニーズの確認、客層の把握、若者など新規客層の誘客効果の確認、運営の円滑性
焚火カフェ	河川エリアの夜間利用の可能性を探る	現状の利用時間帯を拡張し、飲食サービスをした場合の（近隣からの）集客力の確認
乗馬体験	乗馬に対する需要・ニーズの再確認 セラピーはこの段階では目的としない	有料による利用状況の把握（利用者数、居住地・年齢層等）、運営の円滑性 ※R2年度は無料で実施
SUP体験	他地域でも人気のあるSUPの笠松でのポテンシャルの確認	寒い時期のSUPの需要確認、必要設備の確認、運営の円滑性
みなとキッチン	笠松みなと公園の日常的な利用に彩りを添えることへの需要・ニーズの確認（朝カフェと同様）	現況で提供されていない飲食サービスを日中に実施することにより、需要を把握する（日常利用者による需要）、運営の円滑性
スタンプラリー	公園利用の付加価値化・周遊的利用促進など 将来的には、川辺と町内資源の連結・かわとまちの賑わいの連結	コンテンツとしての満足度、公園内の周遊効果、運営の円滑性

※資料2より抜粋して記載